

2025年は、これから進む 方向を見定める年に

18歳人口が減り続けるなか、入学定員を充足できない大学が増えています。大学にとって厳しい時代です。東京家政大学でも、定員を満たし続けている学科がある一方で、いまの定員を維持するのが難しくなっている学科も生じています。18歳人口減少の影響だけでなく、社会全体が大きく変わり、若者が大学に求めるものも変化し始めているのかもしれない。私の世代がウェブブラウザを初めて使ったときはすでに30歳代でしたし、携帯電話の普及期には40歳を過ぎていました。生まれた頃からインターネットが日常で、スマホ、SNSに囲まれて、さらにAIの利用まで広がるうとしている現代の若者の価値観、目標が、これまでと変わってくるのは当然です。

明治14年の創立から今年で144年目を迎える東京家政大学は、歴史の移り変わりのなかで、時代の要請に応え、女性の自主自律を応援し続けてきました。女性が社会で働くこと、経済的に自立することが極めて難しかった時代に、裁縫の技とその教授法を学べる和洋裁縫伝習所として出発し、第2次世界大戦後の時代の大きな転換点にあつては、当時新しい学問であつた家政学を学ぶ新制大学として発足しました。いままた世界秩序の変わり目、先を見通すことが難しいとき、東京家政大学はどこへ向かうのか、2025年は、これから進む方向を見定める年にしなければなりません。

東京家政大学 東京家政大学短期大学部
学長 井上 俊哉

学部長／科長からのメッセージ



林 あつみ
短期大学部
栄養科長

健康を支える栄養を学び、 有意義な学生生活を

「食」の面では、すべての栄養素を必要量摂取すれば健康を維持することができます。そのための基礎から応用までを2年間で学びます。わからないことや不安なことがあればクラス担任や担当部署に相談しましょう。友人と協力しながら自分の知識・技術を高めていってください。有意義な学生生活を送れるよう教員一同、精一杯支援して参ります。



鈴木 隆
短期大学部
保育科長

相談しやすい環境で、 生き生きと輝く保育士を育成

保育科は、豊かな表現力を持ち、明るくアクティブな保育を展開できる人材の育成を主たる目的とする学科です。保育科での学修について、学生生活について、進路について、そのほかどんなことでも不安や心配があればいつでも、誰にでも相談してください。皆さんの幸福な将来のため、教員一同全力を注いで皆さんに向き合います。



保坂 遊
子ども支援学部
学部長

多様性の時代に可能性を広げ、 共創する力を育む

ご入学・ご進級おめでとうございます。「多様性の時代」と言われる現代社会では、「個」を育み、互いを認め合いながら、全ての人が力を発揮できる社会を「共創」する力が求められています。皆さんの可能性を最大限に引き出し、専門的な学びを深めながらも、社会を包括的に捉え、自分自身を広げていただけることを期待しています。

子ども支援学科長 小櫃 智子



平田 浩三
健康科学部
学部長

地域で寄り添う 医療スペシャリストの育成

健康科学部の教育の目的は、すべての年代の人々が「地域でその人らしく暮らす」ことを支援できる、看護師、作業療法士、理学療法士を育成することです。経験豊かな教員の指導のもと、仲間とともに学び合い、共に成長し、地域社会や患者さんから信頼される医療の専門家を目指してください。風薫る春の狭山キャンパスで、皆さんとの出会いを楽しみにしています。

看護学科長 安達 祐子
リハビリテーション学科長 下田 信明



小池 新
人文学部
学部長

変化する社会で活躍する力を つける人文学部の学び

ご入学おめでとうございます。人文学部は、人に関する様々な側面を探究する学部です。各学科の特徴を基に、人の行動・考え方などを学びます。皆さんは、これらを「教えてもらう」知識だけでなく、実践や実習を通じ「自らの体験」として、より深く理解できます。その学びを通じてAIなどで変容する社会でも活躍できる力を身につけましょう。

英語コミュニケーション学科長 根本 貴行
心理カウンセリング学科長 杉山 雅宏
教育福祉学科長 平戸ルリ子



岩崎 美智子
児童学部
学部長

自己の成長を実感できる 学びの提供を

家政大では、毎年1年生と3年生を対象として、大学での学びや学生生活に関する調査を行っています。その結果を見てみると、児童学部は、「大学で学ぶことによって、自分の成長を実感した」という回答がとて多い点が特徴的でした。私たちは、これからも「ひとりひとりの学生が、成長を実感できる学部」であるよう力を尽くします。

児童学科長 榎沢 良彦
初等教育学科長 半澤 嘉博



小西 康子
栄養学部
学部長

「食と健康」を学び、 未来へ歩む

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。栄養学部では、「食と健康」に関する様々な課題を理解し、探究するとともに、実践的な分析や解明につながる専門的な知識と技術を学びます。どんな課題にも前向きに取り組み、新しい知識やスキルを積極的に吸収し、同じ志を持つ仲間たちと協力しながら、「食」の未来に向かって歩んでいきましょう。

栄養学科長 鍋谷 浩志
管理栄養学科長 田中 寛



兼古 昭彦
家政学部
学部長

学びを通じて 社会と未来を輝かす

本学家政学部での学びは、社会全体や身近な生活を豊かにすることに真っ直ぐつながっています。皆さんひとりひとりが充実した大学での日々を過ごすことも、社会を輝かせることにつながっています。身につけた力が自身の将来をどのように明るく照らすのか、考え、模索し、夢や希望を実現してください。力になります。

服飾美術学科長 田中 早苗
環境共生学科長 宮本 康司
造形表現学科長 手嶋 尚人